

池田市立学校の状況について

■背景

池田市においては平成30年（2018年）4月1日より義務教育学校「ほそごう学園」を開校・運営しています。義務教育学校としての先進事例であるほそごう学園および義務教育学校となっていない他校についてもどのような運営を行っているか調査を行いました。

■池田市概要

	池田市	豊中市
人口（令和4年2月時点）	103,272人	400,537人
面積	22.14 km ²	36.6 km ²
人口密度（人/km ² ）	4,664人/km ²	10,944人/km ²
0歳～14歳人口 (令和3年3月31日/令和3年4月1日)	26,264人	55,652人



■池田市立学校の状況

学園	中学校	生徒数	学級数	小学校	児童数	学級数
ほそごう学園	ほそごう学園	167人	5学級	ほそごう学園	324人	10学級
しぶたに学園	渋谷中学校	975人	25学級	五月丘小学校	1,795人	52学級
				秦野小学校		
				緑丘小学校		
いけだ学園	池田中学校	818人	21学級	池田小学校	1,560人	45学級
				呉服小学校		
いしばし学園	石橋中学校	322人	9学級	石橋小学校	647人	19学級
				石橋南小学校		
きたてしま学園	北豊島中学校	541人	14学級	神田小学校	1,171人	34学級
				北豊島小学校		

池田市令和3年3月31日現在の町丁目別人口を各学区にあてはめた数値。

学級数は中学校を40人1学級、小学校を35人1学級として算出した。

<施設類型について>

ほそごう学園については義務教育学校であり、その他の学園については小中一貫校として位置付けているため、豊中市における庄内さくら学園と他校の関係に類似しています。

<規模感について>

池田市においては平成 25 年 5 月時点で過小となっていた細河中学校（208 人）、細河小学校（172 人）、伏尾台小学校（214 人）の 3 校を最小規模に達するために、施設一体型の義務教育学校であるほそごう学園に統合したと考えられます。

他学園については、1 施設統合するには過大となるため、施設接続型の学園としている。いしばし学園は児童数・生徒数を鑑みると施設一体型（石橋小学校と）とすることも考えられますが、将来の人口動態を注視しながら検討すると考えられます。

<学校区域について>

学校区域課題については、一部調整区域を残す（12 区域存在しましたが、ほそごう学園の開校にあわせて残り 5 区域（うち 2 区域は経過措置中）とした）ものの、1 小 1 中の関係を構築できています。

■学園ごとの小中一貫の取り組み

●ほそごう学園

■ほそごうサミット

- ・前期課程(小学校)児童会と後期課程(中学校)生徒会が集まり、活発な意見交換をしています。

■学年を超えた交流

- ・上級生が下級生に勉強を教えたり、給食交流等を通じて交流を深めたりしています。

●しぶたに学園

■小学校×中学校の交流

- ・小学生のまち探検での中学校訪問や、小学校での中学生職場体験等を通じて、世代を超えた交流を深めています。

■小学校の豊富な交流

- ・合同ドッジボール大会や、合同での2分の1成人式、合同平和学習等、様々な行事で交流を深めています。

●いけだ学園

■児童会・生徒会の交流

- ・小中学校の児童会、生徒会が交流し、学園で募金活動やあいさつ運動に取り組んでいます。

■小学校の豊富な交流

- ・各学年で、ミニ運動会から合唱・合奏交流、校外学習交流まで、様々な交流を通じ、つながりを深めています。

●いしばし学園

■児童会・生徒会の交流

- ・小中学校の児童会、生徒会が交流し、学園で募金活動等に取り組んでいます。

■小学校×中学校の交流

- ・小学生と中学生の昔の遊び交流や、小学校同士のドッジボール交流、自然学舎交流等を通じて、子どもたちのつながりを深めています。

●きたてしま学園

■学園校区美化活動

- ・事前に子どもたちでルートを話し合い、地域の方と一緒に清掃を行っています。

■小学生の百人一首大会

- ・中学校の体育館で、百人一首大会を開催し、楽しく交流を深めています。

■教育内容について

義務教育学校に限らず謳っているのは「英語教育の充実」「学習環境の充実」「ICT教育の充実」「家庭学習支援&子育て支援」「豊富な外部人材の活用」としている。

<英語教育の充実>

英語を使ったコミュニケーション能力を育成するため、オンライン英会話や最新の英語検定を導入し、「聞く」「読む」「話す」「書く」をバランスよく育みます。

- ・オンラインで英会話（6,7,8,9年生、【小6年生、中1,2,3年生】）
- ・小学生英語教室を開講（5,6年生、【小5,6年生】）
- ・最新の英語検定を導入（6,7,8年生、【小6年生、中1~3年生】）
- ・小学校に英語リーダー教員を配置（1~6年生、【小1~6年生】）
- ・特色ある英語教育の推進
- ・魅力ある英語の授業

<学習環境の充実>

社会の変化に伴い、子どもを取り巻く環境も大きく変わっています。いけだは、多様化する子どもたち一人ひとりの個を大切に、それぞれが個性を伸ばし、「豊かな心」「確かな学力」「健やかな身体」を育めるよう、より良い学習環境を提供します。

- ・先生の授業力向上
- ・いじめ・不登校問題等の未然防止・早期対応
- ・スマイルファクトリーでの不登校支援

<ICT教育の充実>

電子黒板による授業やプログラミング教育の充実により、情報化社会ではばたくための学びを提供します。

- ・100体のPepperと「プログラミング」を学ぶ
- ・電子黒板&タブレットで、より楽しく、分かりやすい学びを

<家庭学習支援&子育て支援>

学習教室の開講で、家庭学習をサポート。子育てする保護者の声もしっかり受けとめます。

- ・学びをサポートする学習教室を開講
- ・子育てを学び、「親の力」を引き出す学習会を開催

＜豊富な外部人材の活用＞

学校の先生だけではなく、その道の専門家やプロの目を通して、子どもたちの力をさらに伸ばします。

- ・学校のニーズに応じた教員や専門家を派遣
- ・池田市ゆかりのアスリートがいけだの教育に提言
- ・元プロ野球選手・八木裕さんが熱血指導
- ・アテネ五輪・銅メダリスト中西悠子さんが水泳指導
- ・ソフトバンク社がオンラインで部活動支援（元バレーボール日本代表山本隆弘さん）